

ハッピー&スマイル 4号

発行者
社会福祉法人楽寿会
特別養護老人ホーム楽寿荘
四倉町上仁井田字横川67
TEL (0246)32-6381



青空昼食会

平成二十五年五月二十三日(木)、毎年恒例の「春の青空昼食会」が、雲一つない青空の下、楽寿荘いこいの家前の芝生で行われました。今回も家族の方を招待して昼食のひとつときを楽しく過ごすことができました。

今回のメニューはソースカツ・カボチャの煮付け・かおりご飯・いんげんの胡麻あえ・いちご・かき玉汁で、かき玉汁は、利用者と厨房職員との合作で、各棟の利用者代表の方にかきたま汁の野菜切りをお願い、切っていただきました。利用者の、野菜を切る包丁さばきは、見事なもので、さすが主婦歴何十年。ベテランの技が光っておいしかったです。

各棟対抗の玉入れ、体操など全体のレクリエーションをはさんで、い

口腔ケア勉強会

給食委員会が中心になり、六月十一・十二・十三日の三日間、利用者に関わる口腔ケアの勉強会が開かれました。初日は、訪問歯科でお世話になっている、鈴木孝直先生に講師をしていただき、口腔内の残渣物に関する講義をスライドショーを見ながら行っていました。また、新人職員と一緒に二人一組になり口腔ケアの実施指導を行っていただきました。残りの二日間は、楽寿荘看護師北條が講師になり、利用者に対しての口腔ケア、用具の正しい選び方、使い方についての再確認を行いました。

りに家族と一緒に食べる食事は格別で、あちこちで笑い声が聞こえ、又満面の笑顔がありました。普段少食の方がおかわりするほどの人気だったかき玉汁は、あつというまに大鍋からなくなっていました。



勉強会で食べる事の大切さ、そして、栄養を補給する入り口である口腔を清潔にしておく事の大切さを、改めて確認しました。鈴木先生お忙しい中ありがとうございました。



一緒に食べるご飯はいつもより美味しいね。

鹿児島から元気 配達人來荘

六月十四・十五日の二日間、鹿児島から「さわやか会」の皆様が震災ボランティアとして来荘されました。さわやか会は様々な特技、芸を持った方の集まりで会員数二百三十名の鹿児島一番のボランティア団体です。今回、縁があり施設の利用者に元気を届けたいと楽寿荘を選んで、九名の皆様が訪問してくださいました。



バルーンアートが成功する度に「おー」と歓声をあげて喜び、六月の誕生者には特別、サプライズとしてバルーンアートで作った花束が贈られました。日舞の先生の華麗な踊りには、目を奪われ見入っていました。又鹿児島県の伝統楽器、天笛という手作りの竹笛で演奏する唱歌に合わせ、利用者も一緒に歌い、会場は一体感となれました。最後は福島県出身の梅沢富美男になりきった会長さんの姿と歌に、利用者、スタッフも大喜びで拍手喝采でした。

あつという間のひとときを過ごした利用者は、又の再会をお願いしましたところ、さわやか会の皆様からまた貯金を貯めて是非来荘したいという言葉を送りました。さわやか会の皆様にはたくさんのお笑顔と元気をいただき本当にありがとうございました。

さわやか会の皆様と一緒に



美味しい飲み物と 会話の一時

毎月第一第三月曜日は、四倉地区民生委員の皆さんが楽寿荘に来荘し、喫茶室にて利用者の皆さんにかおり高いコーヒーを入れ、好みに応じてジュースや紅茶を出してくれます。六月十七日はコーヒー好きの利用者さんが楽しみにしていた喫茶室の日でした。コーヒーの香りに誘われて、次々と利用者の方が集まります。

「おいしいねえ」の声のほかに「いやあ元気かい？」「久しぶりだねえ」等、顔みしりの方々と笑顔でお話しする利用者の声も聞かれました。

淹れたてのコーヒーを飲み、喫茶室を後にする皆さんの表情にはとても満足そうな笑顔がうかんでいました。

民生委員の皆様は、このようにいつも地域に根付いた活動をしてくださっております。皆様いつもありがとうございます。又お待ちしております。



夏祭りのお知らせ

今年も恒例の夏祭りが、八月二十四日(土)開催されます。皆さんのおいでをお待ちしております。

